

第4学年 社会科学習指導案

日 時 平成23年10月28日(金) 5校時
児 童 4年2組 男12名 女14名 計26名
指導者 齊 藤 俊 治(北松園小学校)

「まちを開く」の指導内容 地域の人々の生活について、次のことを見学・調査したり年表にまとめたりして調べ、人々の生活の変化や人々の願い、地域の人々の生活の向上に尽くした先人の働きや苦心を考える。	
ウ 地域の発展に尽くした先人の具体的事例	2 (5)
この単元で身につけたい力 ・見学・調査したことや資料を通して調べ、必要な情報を的確にとらえる力 ・調べたことを関連づけ、むかしの人々の願いと努力を考える力	

- 1 大単元名 昔のくらしとまちづくり
中単元名 まちを開く
－ 鹿妻穴堰の開発 －

2 単元について

(1) 教材について

本単元「まちを開く」は、「地域の人々の生活について、見学・調査したり年表にまとめたりして調べ、人々の生活の変化や人々の願い、地域の人々の生活の向上に尽くした先人の働きや苦心を考える」学習として位置付けられている。

この単元では、地域の発展に尽くした先人の具体的事例として、鹿妻穴堰を開発した釜津田甚六をとり上げる。今から400年ほど前、釜津田甚六は南部氏の命により鹿妻穴堰を開発した。釜津田甚六は、雫石川から水を取り入れる取水口を決める際に入念な調査を行い、剣長根といわれる岩山に穴を掘ることを考えた。工事には多くの困難が伴ったが、2年あまりをかけて見事にこの工事を成し遂げた。この開発により、水不足に悩まされていた北上川西岸は、「南部の米倉」といわれるまでになり、城下町盛岡を支えた。その後、鹿妻穴堰は、改修や用水路の延長が行われ、今日まで使われ続けている。現在の鹿妻穴堰は、釜津田甚六が取水口として穴を掘った場所に水門が作られている。そして、北上川西岸の水田地帯に農業用水を送る重要な役割を果たしている。現在でも同じ場所に取水口があることは、釜津田甚六が剣長根を取水口に決めた判断の正しさを物語っている。

このようなことから、鹿妻穴堰を開発した釜津田甚六の働きは、自分たちが住んでいる地域の生活の向上に大きな影響を及ぼしたといえることができる。そして、地域の発展に尽くした先人の具体的事例として釜津田甚六をとり上げることは、子どもたちの学習に適した教材であると考えられる。

(2) 児童について

子どもたちは、「健康なくらしとまちづくり」において、ごみの処理と上水道の学習を行い、これらの事業が計画的に行われ、自分たちの生活に深く結びついていることを学んできた。「安全なくらしとまちづくり」では、消防や警察の学習を通し、人々の安全を守るための関係機関の働きとそこに従事している人々や地域の人々の工夫や努力を学んできた。また、「昔のくらし」の学習では、歴史的な内容の学習を行ってきた。ここでは、昔の道具を体験したり調べたりすることを通して、道具はくらしとともに変化してきていることを学んだ。また、地域の伝統行事とその由来を調べることを通し、地域の昔の様子や、地域の特色が長い時間をかけて形成されてきていることをとらえるとともに、伝統行事の保存と継承に努めてきた人々の願いを考える学習も行ってきた。

これまでの学習を通して、子どもたちは、今まで何げなく捨ててきたごみを処理したり水道水を確保したりするためには、たくさんの労力や費用がかかっていることを知り、自分たちにできることは何かを考えることができるようになってきている。また、人々の安全を守るために、関係機関の人々が普段から設備の点検や訓練を行うなど、自分たちの見えないところで努力をしていることに気づき始めている。子どもたちは、施設を見学し、説明を直接

聞いたりする等の体験活動を通し、調べたり課題を追究したりすることに対する意欲をもつようになってきた。しかし、資料を読み取る力や調べたことをまとめる力には個人差があり、これからの学習で繰り返し指導していく必要がある。また、4年生段階においては、50年前の昔と400年前の昔の違いをとらえられないことも考えられる。その時代を正確にイメージできるような指導の工夫をしていく必要がある。

(3) 指導にあたって

本単元は、地域の発展に尽くした先人の働きについて理解し、地域社会に対する誇りと愛情を育てることをねらいとしている。この学習は、第6学年において人物の働きや代表的な文化遺産を中心に調べ、我が国の歴史や伝統を大切に、国を愛する心情を育てることをねらいとする学習へとつながっていく。

このような系統性と児童の実態を踏まえた上で、本単元では次のような手立てを工夫する。

ア 絵や図、実物を取り入れ、観点を与えて読み取らせる。

子どもたちが、約400年前の人々の生活の様子、地域の環境がどのようなものだったのかを正確にイメージできるようにしたい。そうすることによって、農業用水の重要性や人々の願いや苦労を実感できるようにしていきたい。

イ 鹿妻穴堰を見学する活動を行う。

鹿妻穴堰を見学することを通して、現在においても釜津田甚六の行った開発が、地域の人々の生活に重要な役割を果たしていることに気付かせる。

ウ 調べて考えたことを自分の言葉でまとめ、伝え合う場を設定する。

調べたことから、自分が考えたことを自分の言葉でまとめ、伝え合うことにより、お互いの考えを深めることができるようにしていきたい。

3 単元の目標

- (1) 水不足に苦しんだ人々の生活の様子や用水路工事の様子に関心をもち、地域の発展に尽くした先人の働きについて、進んで追究しようとする。 【関心・意欲・態度】
- (2) 工事を完成させるために人々が努力してきた様子を、当時の人々のくらしと結び付けて考え、表現することができる。 【社会的な思考・判断・表現】
- (3) 鹿妻穴堰の工事によって地域が大きく変わってきたことや、当時の人々の苦労や願いを資料を通して調べたり、調べたことを工夫してまとめたりすることができる。 【観察・資料活用の技能】
- (4) 鹿妻穴堰の工事は、地域の人々の願いや努力によって実現され、その結果、地域が発展してきたことを理解することができる。 【知識・理解】

4 指導計画及び評価規準 (12時間)

	学習内容と 主な学習活動	評価規準 評価方法			単位時間における言語活動を通して考える力を育てる活動	
		社会的事象への 関心・意欲・態度	社会的な 思考・判断・表現	観察・資料活用の 技能		社会的事象に ついての知識・理解
第1次 1時間	鹿妻穴堰と釜津田甚六について知り、学習の見通しをもつ。 ・鹿妻穴堰や釜津田甚六について知る。 ・学習の見通しをもつ。 1時	・鹿妻穴堰と釜津田甚六について知り、意欲的に調べようとしている。 態度・発言	・写真を見て、分かったことや気付いたことを考えている。 発言・ノート			写真を見て、分かったことや気づいたことを話し合う活動
第2次	鹿妻穴堰がつくられる前の地域の人々のくらしと願いを調べる。 ・絵から気付いたことを話し合う。 ・水争いが起こったわけについて調べる。		・鹿妻穴堰がつくられる前の地域の人々のくらしから願いを考えている。	・鹿妻穴堰がつくられる前の地域の人々のくらしについて調べている。 発言・ノート		鹿妻穴堰がつくられる前の地域の人々のくらしと願いについて、調べたことを

9 時 間	<ul style="list-style-type: none"> ・ 当時の人々の願いをとらえる。 <p style="text-align: right;">2時</p>		<p>発言・ノート</p>		<p>交流する活動</p>	
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 南部藩主が釜津田甚六に命じて鹿妻穴堰をつくらせたわけを調べる。 ・ 南部藩主が盛岡に城を移したこと、釜津田甚六に用水路作りを命じたことを資料からつかむ。 ・ 南部藩主が用水路作りを命じたわけを調べる。 ・ 調べたことを出し合い、北上川西岸の荒地を田にして、食料を確保したいという考えをとらえる。 <p style="text-align: right;">3時</p>			<ul style="list-style-type: none"> ・ 南部藩主が釜津田甚六に鹿妻穴堰をつくらせたわけを調べている。 <p>発言・ノート</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 南部藩主が釜津田甚六に鹿妻穴堰をつくらせたわけを理解している。 <p>発言・ノート</p>	<p>南部藩主が釜津田甚六に鹿妻穴堰をつくらせたわけについて、調べたことを交流する活動</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 釜津田甚六が、取水口を剣長根に決めたわけを調べる。 ・ 雫石川のどこから水を引いたらよいか話し合う。 ・ 釜津田甚六が剣長根に取水口をつくったわけを調べる。 ・ 調べたことを出し合い、剣長根に決めたわけをとらえる。 <p style="text-align: right;">4時</p>			<ul style="list-style-type: none"> ・ 釜津田甚六が取水口を剣長根に決めたわけを調べている。 <p>発言・ノート</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 釜津田甚六が取水口を剣長根に決めたわけを理解している。 <p>発言・ノート</p>	<p>釜津田甚六が取水口を剣長根に決めたわけについて、調べたことを交流する活動</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 鹿妻穴堰を見学し、鹿妻穴堰の概要をつかむ。 ・ 頭首工と用水路の様子、周りの土地の様子を調べる。 ・ 見学したことをまとめる。 <p style="text-align: right;">5～8時</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 見たことや聞いたことを記録しようとしている。 <p style="text-align: center;">ノート</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・ 見たことや聞いたことを的確に記録している。 <p style="text-align: center;">ノート</p>		<p>見学したことをノートに記録する活動</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 穴口工事の様子を調べ、当時の人々の苦労や願いについてとらえる。 ・ どのようにして穴口を掘ったのかを調べる。 ・ 調べたことを出し合い、穴口工事の様子をとらえる。 ・ 当時の人々の苦労や願いを考える。 <p style="text-align: right;">9時(本時)</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・ 穴口工事には大変な苦労が伴ったことや、村人たちの米を作るために水が欲しいという願いを書きまとめている。 <p>発言・ノート</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 調べる観点に沿って、穴口工事の様子を調べるとともに工事の苦労や工夫も調べている。 <p>発言・ノート</p>		<p>穴口工事の様子を調べ、それをもとに当時の人々の苦労や願いを考え、交流する活動</p>

	<p>鹿妻穴堰の改修や用水路の広がりについて調べ、北上川西岸が「南部の米倉」に変化していったことをとらえる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年表から鹿妻穴堰の工事の歴史をとらえる。 ・資料をもとに、穴口の改修、用水路の広がり、米の取れ高の変化について調べる。 ・鹿妻穴堰と人々の生活の高まりの関わりをとらえる。 <p>10時</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・鹿妻穴堰の改修や用水路の広がりについて調べている。 <p>発言・ノート</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・鹿妻穴堰によって、北上川西岸が「南部の米倉」になったことを理解している。 <p>発言・ノート</p>	鹿妻穴堰の改修や用水路の広がりについて調べる活動
第3次 2時間	<p>これまでの学習をもとに、鹿妻穴堰の紙芝居を作り、発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習したことをもとに、紙芝居を作る。 ・作った紙芝居を発表し、交流する。 <p>11・12時</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・鹿妻穴堰の紙芝居を意欲的に作る。 <p>態度</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学習したことをもとに、鹿妻穴堰の紙芝居を作っている。 <p>紙芝居</p>		紙芝居を作る活動

5 本時の指導

(1) ねらい

- ・穴口工事の様子について調べたことをもとに、当時の人々の苦労や願いを考えることができる。 【思考・判断・表現】
- ・資料から穴口工事の様子を調べることができる。 【観察・資料活用の技能】

(2) 具体の評価基準

	観点別評価目標	B (概ね満足できる)	C (支援の手立て)
評価1	<p>資料から穴口工事の様子を調べることができる。</p> <p>【観察・資料活用の技能】</p>	<p>調べる観点に沿って、穴口工事の様子を調べるとともに、工事の苦労や工夫も調べている。</p>	<p>予想で確かめた調べる観点を確認し、予想が正しいか調べさせる。</p>
評価2	<p>穴口工事の様子について調べたことをもとに、当時の人々の苦労や願いを考えることができる。</p> <p>【思考・判断・表現】</p>	<p>穴口工事には大変な苦労が伴ったことや、村人たちの米を作るために水が欲しいという願いを書きまとめている。</p>	<p>板書に書かれていることや体験したことをもとに書きまとめるようにさせる。</p>

(3) 「考える力」を育成するための手立て

【考える力の育成にかかわる身に付けたい力】

- ・調べたことをもとに、当時の人々の苦労や願いを考える力

【考える力を育成するための言語活動】

- ・調べたことを話し合ったり、実際に道具を使ったりして、昔の人の気持ちを考え表現する活動

(4) 展開

段階	学習内容と学習活動 (発問 指示)	時間	指導上の留意点・評価 (・留意点 評価)
導入	1 前時の学習を想起する。	8	<ul style="list-style-type: none"> 釜津田甚六が取水口を剣長根に決めたわけを確認する。 剣長根の岩を提示し、幅2メートル、長さ12メートルも掘ったことを知らせ、本時の課題につなげる。
	2 本時の学習課題をつかむ。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <p>どのようにして穴口をほったのだらう。</p> </div>		
展開	3 学習課題を解決する。 (1)どのように穴口を掘ったのかを予想する。 どのようにして穴口を掘ったのでしょうか。予想をノートに書きましょう。	5	<ul style="list-style-type: none"> 誰が、どのようにして(掘る方法や使った道具)、どれくらいかかったか(時間)などに焦点を当てて考えさせる。 ノートに書いたことを発表させ、板書に整理する。 予想で確認した観点に沿って調べることや工夫や苦勞についても調べることを確認する。 評価1
	(2)どのようにして穴口を掘ったのかを調べる。 どのようにして穴口を掘ったのでしょうか。あたらしいきょうど岩手を使って調べましょう。	8	
	(3)調べたことを話し合う。 どのようにして穴口を掘ったのでしょうか。調べたことを発表しましょう。 昔の道具を使ってみましょう。 大変な作業なのに、なぜ村人たちは2年間も穴を掘ったのでしょうか。	8 10	
終末	5 学習のまとめをする。 今日の学習をして、分かったこと、考えたことを書きましょう。	6	<ul style="list-style-type: none"> 2段落構成でまとめを書くようにさせる。 評価2 数人を指名し、発表させる。
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>たくさんの村人たちが、げんのうやもっこなどを使って、手作業で2年あまりもかけて穴口を掘った。とても大変な工事だったけれど、村人たちは米を作るために水が欲しいので、がんばって工事をした。 昔は機械などがないのに全部人の力で穴口をほってすごいなあと思ったし、それだけ水が大切だったんだなあと思った。</p> </div> <p>書きまとめたことを発表しましょう。</p>		

6 板書計画

<p>どのようにして穴口を ほったのだろう。</p>	<p>大変だ つかれる もういやだ</p>	<p>村人の気持ち</p>	<p>水がほしい 米を作りたい 早く完成させたい</p>		
<p>予想 だれが たくさんの人 どのようにして 人の力で かなづちで</p>	<p>たくさんの村人が</p>	<table border="1"><tr><td>げんのう</td><td>つるはし</td></tr></table>	げんのう	つるはし	<p>工夫 岩を熱する</p>
げんのう	つるはし				
<p>手作業</p>	<table border="1"><tr><td>ざる</td><td>もっこ</td></tr></table>	ざる	もっこ	<p>岩がもろくなる</p>	
ざる	もっこ				
<p>どれくらいかかって 10年ぐらい</p>	<p>2年あまり</p>	<p>苦勞 こう水のために 中止, やりなおし</p>			